

3. インターチェンジ配置に対するご意見

<インターチェンジ配置の検討における5つのキーワード>

① 将来のまちづくり支援

④ インターチェンジの設置数

② 大沢野町へもたらす整備効果

⑤ 周辺環境への影響と環境保全対策

③ 広域利用に向けた提案

「インターチェンジ配置」について、皆さんから以下のようなご意見をいただきました。環境やまちづくりとも密接な関係があることから、今後、皆様からの意見を公表し共有できるよう努めながら、地元と行政或いは地元の中での対話を進めていきたいと考えています。

インターチェンジ配置案に関する主な意見

- インターチェンジ周辺のまちづくり構想^①などに配慮して検討してください。
- 八尾中核工業団地、大沢野企業団地などの工業拠点付近にインターチェンジを設置^②し、流通の利便性を高めるべきです。
- インターチェンジを配置する際は、町への経済効果^②を考慮してください。
- 役場や金融、郵便、福祉施設などへの連絡のほか、国道41号等との接続^②がより容易な場所にインターチェンジを設置してください。
- インターチェンジは、周辺市町村を含めた広域的な利便性^③を考慮して設置してください。神通川を橋で越えている広域的な道路^③にインターチェンジをつくとよいと思います。
- インターチェンジをできるだけ多く^④つくれば、町の活性化^②にもつながると思います。
- インターチェンジは、わずか9kmの区間に3~4カ所も必要ありません^④。インターチェンジの数は、交通の流れや用地確保の面から必要なものだけとし、極力減らした方がよいと思います。
- 交通量の多い道路にインターチェンジをつくと、更なる渋滞を招く^⑤おそれがあると思います。
- インターチェンジ整備予定地周辺の交通量^⑤を考慮し検討してください。それぞれの配置案に応じて、交通流量がどの程度になるのか、具体的な数値データを提示してください。
- インターチェンジ付近の騒音、排気ガス、景観対策、交通安全対策^⑤を図ってください。

ルート帯に関する意見と同様に、インターチェンジ配置においても将来のまちづくりや環境への影響についての意見が多くみられました。

